

令和4年度事業報告書

公益財団法人 長崎県健康事業団

目 次

1	令和4年度健康診断等の実施状況総括表	1
2	特定健康診査等の実施状況	2
3	事業所健診の実施状況	3
4	メンタルヘルスの実施状況	4
5	結核健康診断の実施状況	4
6	原爆被爆者健康診断の実施状況	5
7	学校健診の実施状況	5
8	胃がん検診の実施状況	6
9	子宮頸がん検診の実施状況	6
10	乳がん検診の実施状況	7
11	肺がん検診の実施状況	8
12	大腸がん検診の実施状況	9
13	骨粗鬆症予防検診の実施状況	9
14	腹部超音波検査の実施状況	10
15	ヘリコバクター・ピロリ抗体検査の実施状況	10
16	胃がんリスク検診(ABC検診)の実施状況	11
17	風しん抗体検査の実施状況	11
18	低線量CT肺がん検診の実施状況	11
19	先天性代謝異常検査の実施状況	12
20	検体受託検査の実施状況	13
21	新型コロナウイルス検査の実施状況	13
22	新型コロナウイルスワクチン接種の実施状況	13
23	複十字シール運動	14
24	がん征圧推進運動	14
25	週間及び月間運動等の実施	15
26	媒体による広報活動	15
27	教育資材の貸出	15
28	図書の斡旋	15
29	長崎県救急医療情報センター運営事業	
	(1)長崎県救急医療情報システム運営事業	16
	(2)救急搬送事後検証票解析事業	16
	(3)その他の救急医療関係	17
30	長崎県腎臓バンク運営事業	
	(1)一般への普及啓発(腎不全対策確立事業)	18
	(2)病院への普及啓発(腎不全治療対策推進事業)	19
	(3)臓器移植希望登録助成事業	20
	(4)受託事業	20
	(5)腎臓移植・人口透析関係資料	21

1 令和4年度健康診断等の実施状況総括表

令和4年度は、下記のとおり各種健康診断等を実施した。

健診・検査合計で、延 496,144人となり、前年比 16,829人の減、3.28%の減少となった。

検査数が減少しているが、新型コロナウイルスワクチン接種の減少が主たる要因である。

健康診断事業については、令和2、3年度と比べて受診者数は増加しているものの、住民健診における集団健診から個別医療機関健診への移行に伴う受診者減少に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う健診の中止・延期により、令和元年度の受診者数までには回復できていない状況である。

(単位:人)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度	前年比率
特定健康診査	44,501	43,633	24,922	31,400	34,394	2,994	109.54%
事業所健診	74,778	74,736	75,564	79,425	81,522	2,097	102.64%
メンタルヘルス	6,777	5,542	5,462	4,906	6,331	1,425	129.05%
結核健康診断	124,534	122,877	114,810	116,589	118,712	2,123	101.82%
原爆被爆者健康診断 (一般)	3,254	2,859	1,365	2,092	1,791	△ 301	85.61%
学校健診(児童生徒)	42,657	42,301	40,657	40,084	40,658	574	101.43%
胃がん検診	24,206	23,306	18,327	21,222	20,826	△ 396	98.13%
子宮頸がん検診	16,511	16,175	10,561	13,721	13,820	99	100.72%
乳がん検診	18,386	18,842	11,459	15,688	15,554	△ 134	99.15%
肺がん検診	37,572	37,397	22,968	27,460	28,187	727	102.65%
大腸がん検診 (大腸検診含む)	42,633	43,132	33,396	40,636	42,521	1,885	104.64%
骨粗鬆症予防検診	2,421	2,272	1,384	1,635	2,064	429	126.24%
腹部超音波検査	5,553	6,135	2,289	4,600	5,606	1,006	121.87%
ヘリコバクター ピロリ抗体検査	1,476	955	565	557	667	110	119.75%
胃がんリスク検診 (ABC検診)	1,994	1,822	850	1,110	1,231	121	110.90%
風しん抗体検査	-	1,788	2,333	430	390	△ 40	90.70%
低線量CT肺がん検診	0	0	0	83	0	△ 83	-
健診小計 ①	447,253	443,772	366,912	401,638	414,274	12,636	103.15%
先天性代謝異常検査	11,072	10,548	9,938	9,489	9,002	△ 487	94.87%
オプションスクリーニング 検査	-	-	-	0	5,830	5,830	-
検体受託検査	1,072	1,041	880	835	807	△ 28	96.65%
新型コロナウイルス PCR等検査	-	-	5,464	7,664	12,235	4,571	159.64%
新型コロナウイルス ワクチン接種	-	-	-	93,347	53,996	△ 39,351	57.84%
検査小計 ②	12,144	11,589	16,282	111,335	81,870	△ 29,465	73.53%
総合計 ①+②	459,397	455,361	383,194	512,973	496,144	△ 16,829	96.72%

2 特定健康診査等の実施状況

高齢者の医療の確保に関する法律等に基づく特定健康診査は、34,394人を実施し、前年比 2,994人の増、9.54%の増加となった。

なお、肝炎ウイルス検査 2,682人、前立腺がん検診 7,928人も併せて実施した。

○特定健康診査

(単位:人)

年度	箇所数	特定健診等	保健指導の階層化				メタボリックシンドローム判定		
			情報提供	動機づけ支援	積極的支援	その他	非該当	予備群	該当
平成30年度	18	44,501	29,576	3,088	1,051	10,786	31,991	5,087	7,419
平成元年度	18	43,633	29,955	3,147	1,017	9,514	31,149	5,035	7,425
令和2年度	18	24,922	16,671	1,634	521	6,096	17,470	3,132	4,314
令和3年度	18	31,400	21,426	2,163	672	7,139	22,070	3,855	5,473
令和4年度	19	34,394	21,890	2,196	618	9,690	24,393	4,156	5,838
対前年度	1	2,994	464	33	△ 54	2,551	2,323	301	365
前年比率	105.56%	109.54%	102.17%	101.53%	91.96%	135.73%	110.53%	107.81%	106.67%

※箇所数には、原爆被爆者健康診断において特定健康診査を追加実施している市町はカウントしていない。

○肝炎ウイルス検査

(単位:人)

年度	肝炎ウイルス検査						
	箇所数	B型	要精検者数	要精検率	C型	要精検者数	要精検率
平成30年度	16	3,122	24	0.77%	3,122	13	0.42%
令和元年度	16	2,911	17	0.58%	2,911	2	0.07%
令和2年度	15	1,359	14	1.03%	1,359	1	0.07%
令和3年度	16	1,886	14	0.74%	1,886	3	0.16%
令和4年度	17	2,681	20	0.75%	2,682	2	0.07%
対前年度	1	795	-	-	796	-	-
前年比率	106.25%	142.15%	-	-	142.21%	-	-

○前立腺がん検診

(単位:人)

年度	前立腺がん検診			
	箇所数	受診者数	要精検者数	要精検率
平成30年度	15	9,312	813	8.73%
令和元年度	15	9,170	798	8.70%
令和2年度	15	6,238	602	9.65%
令和3年度	15	7,358	633	8.60%
令和4年度	16	7,928	688	8.68%
対前年度	1	570	-	-
前年比率	106.67%	107.75%	-	-

3 事業所健診の実施状況

事業所健診は、労働安全衛生法による一般健康診断を 81,522人、特殊健康診断を11,163人、指導勧奨による健康診断等 2,536人、情報機器作業健康診断(VDT)を 1,459人実施した。

一般健康診断は、前年比 2,097人の増、2.64%の増加となった。

①一般健康診断

(単位:人)

年度	箇所数	一般健診	総合判定				
			異常なし	経過観察	要注意	要受診	治療継続
平成30年度	922	74,778	15,300	6,362	30,926	16,406	5,784
令和元年度	895	74,736	14,875	6,328	30,663	17,052	5,818
令和2年度	891	75,564	13,595	6,528	31,429	17,850	6,162
令和3年度	868	79,425	16,520	6,585	32,600	17,410	6,310
令和4年度	888	81,522	17,112	6,823	33,611	17,295	6,681
対前年度	20	2,097	592	238	1,011	△ 115	371
前年比率	102.30%	102.64%	-	-	-	-	-

②特殊健康診断

(単位:人)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度	前年比率
じん肺(肺機能含)	2,045	1,683	1,355	1,208	1,122	△ 86	92.88%
有機溶剤	3,341	3,086	2,875	2,818	2,732	△ 86	96.95%
鉛	87	82	76	90	98	8	108.89%
特定化学物質	3,678	3,265	2,940	5,480	5,176	△ 304	94.45%
電離放射線	1,624	1,701	1,689	1,896	1,761	△ 135	92.88%
高気圧業務	110	108	114	119	112	△ 7	94.12%
石綿	615	535	398	272	162	△ 110	59.56%
受診者数合計	11,500	10,460	9,447	11,883	11,163	△ 720	93.94%

③指導勧奨による健康診断等

(単位:人)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度	前年比率
運転業務	17	18	17	17	19	2	111.76%
紫外線・赤外線	2,354	1,662	1,410	1,074	901	△ 173	83.89%
騒音作業	261	202	190	1,205	1,063	△ 142	88.22%
レーザー光線	13	7	8	19	13	△ 6	68.42%
振動業務	849	779	750	551	540	△ 11	98.00%
受診者数合計	3,494	2,668	2,375	2,866	2,536	△ 330	88.49%

④情報機器作業健康診断(VDT)

(単位:人)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度	前年比率
検査箇所数	43	40	32	34	30	△ 4	88.24%
受診者数	2,622	2,652	1,682	1,584	1,459	△ 125	92.11%

4 メンタルヘルスの実施状況

労働安全衛生法の改正により平成27年12月から毎年1回、事業者は全ての労働者に対して「ストレスチェック」を実施することが義務付けられたことで、企業の事業所健診時に合わせてストレスチェックを 6,331人実施した。

①ストレスチェック

区分	箇所数	実施数	調査票				集団分析
			紙媒体		web		
			実施数	未回収	実施数	未回収	
平成30年度	37	6,777	5,807	693	241	36	37
令和元年度	36	5,542	4,749	519	243	31	36
令和2年度	34	5,462	4,835	358	220	49	34
令和3年度	38	4,906	4,242	380	216	68	38
令和4年度	39	6,331	5,450	584	297	0	39
対前年度	1	1,425	1,208	204	81	△ 68	1
前年比率	102.63%	129.05%	128.48%	153.68%	137.50%	0.00%	102.63%

5 結核健康診断の実施状況

結核検診は、一般住民、事業所、施設、学校(生徒)で合計 118,712人実施し、前年比 2,123人の増、 1.82%の増加となった。

(単位:人)

区分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度	前年比率
住民	箇所数	20	20	19	20	20	0	100.00%
	受診者数	34,924	34,520	20,311	24,671	24,717	46	100.19%
	病院紹介者数	1,087	1,026	709	960	724	△ 236	-
	病院紹介者(率)	3.11%	2.97%	3.49%	3.89%	2.93%	-	-
事業所	箇所数	953	936	927	913	905	△ 8	99.12%
	受診者数	68,538	68,204	69,606	66,870	68,363	1,493	102.23%
	病院紹介者数	478	532	788	679	680	1	-
	病院紹介者(率)	0.70%	0.78%	1.13%	1.02%	0.99%	-	-
施設	箇所数	38	38	38	36	37	1	102.78%
	受診者数	2,979	2,907	2,869	2,582	2,708	126	104.88%
	病院紹介者数	107	126	148	114	144	30	-
	病院紹介者(率)	3.59%	4.33%	5.16%	4.42%	5.32%	-	-
学校	箇所数	130	127	128	124	120	△ 4	96.77%
	受診者数	18,093	17,246	22,024	22,466	22,924	458	102.04%
	病院紹介者数	55	37	85	81	59	△ 22	-
	病院紹介者(率)	0.30%	0.21%	0.39%	0.36%	0.26%	-	-
合計	箇所数	1,141	1,121	1,112	1,093	1,082	△ 11	98.99%
	受診者数	124,534	122,877	114,810	116,589	118,712	2,123	101.82%
	病院紹介者数	1,727	1,721	1,730	1,834	1,607	△ 227	-
	病院紹介者(率)	1.39%	1.40%	1.51%	1.57%	1.35%	-	-

6 原爆被爆者健康診断の実施状況

長崎県より委託された原爆被爆者健康診断の年2回の対象者は12市町で 14,271人だが、実施人員は 1,791人で、前年比 301人の減、14.39%の減少となった。

なお、肝機能検査 1,791人、多発性骨髄腫検査 926人を実施した。

(単位:人)

年度	箇所数	対象者	一般	肝機能	要精検者数	要精検率	多発性骨髄腫	要精検者数	要精検率
平成30年度	13	18,900	3,254	3,254	326	10.02%	1,756	22	1.25%
令和元年度	13	17,664	2,859	2,842	305	10.67%	1,505	24	1.59%
令和2年度	11	16,687	1,365	1,365	139	10.18%	413	2	0.48%
令和3年度	12	15,354	2,092	2,088	224	10.71%	1,125	17	1.51%
令和4年度	12	14,271	1,791	1,791	163	9.10%	926	17	1.84%
対前年度	0	△ 1,083	△ 301	△ 297	-	-	△ 199	-	-
前年比率	100.0%	92.95%	85.61%	85.78%	-	-	82.31%	-	-

7 学校健診の実施状況

学校健診(児童・生徒)は、尿検査、寄生虫卵検査、心電図検査を、合計 40,658人実施し、前年比 574人の増、1.43%の増加となった。

(単位:人)

区分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度	前年比率
尿検査	箇所数	204	203	200	196	209	13	106.63%
	受診者数	28,816	29,000	28,492	28,070	28,697	627	102.23%
	陽性者数	1,086	1,130	921	813	807	-	-
	陽性率	3.77%	3.90%	3.23%	2.90%	2.81%	-	-
寄生虫卵検査	箇所数	36	33	18	17	17	0	100.00%
	受診者数	2,071	1,753	949	906	996	90	109.93%
	保卵者数	0	0	0	0	0	-	-
	保卵率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	-	-
心電図検査	箇所数	210	212	205	208	202	△ 6	97.12%
	受診者数	11,770	11,548	11,216	11,108	10,965	△ 143	98.71%
	有所見者数	874	661	798	617	458	-	-
	有所見率	7.43%	5.72%	7.11%	5.55%	4.18%	-	-
受診者数合計		42,657	42,301	40,657	40,084	40,658	574	101.43%

8 胃がん検診の実施状況

胃がん検診は、一般住民、原爆被爆者、事業所で、合計 20,826人実施した。

前年比 396人の減、1.87%の減少となった。

また、胃がん検診(撮影のみ)は、一般住民、事業所で、合計 1,596人を実施した。

前年比 26人の増、1.66%の増加となった。

(単位:人)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度	前年比率
住 民	箇所数	19	19	18	18	18	0	100.00%
	受診者数	11,747	10,883	6,000	8,122	8,052	△ 70	99.14%
	要精検者数	489	458	353	602	611	-	-
	要精検率	4.16%	4.21%	5.88%	7.41%	7.59%	-	-
原爆被爆者	箇所数	5	4	2	1	2	1	200.00%
	受診者数	5	11	2	2	2	0	100.00%
	要精検者数	0	0	1	0	0	-	-
	要精検率	0.00%	0.00%	50.00%	0.00%	0.00%	-	-
事業所	箇所数	225	233	233	225	258	33	114.67%
	受診者数	12,454	12,412	12,325	13,098	12,772	△ 326	97.51%
	要精検者数	343	406	581	652	673	-	-
	要精検率	2.75%	3.27%	4.71%	4.98%	5.27%	-	-
合 計	箇所数	249	256	253	244	278	34	113.93%
	受診者数	24,206	23,306	18,327	21,222	20,826	△ 396	98.13%
	要精検者数	832	864	935	1,254	1,284	-	-
	要精検率	3.44%	3.71%	5.10%	5.91%	6.17%	-	-

○撮影のみ(住民・事業所)

(単位:人)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度	前年比率
受診者数	2,096	2,105	1,566	1,570	1,596	26	101.66%

9 子宮頸がん検診の実施状況

子宮頸がん検診は、一般住民、原爆被爆者、事業所で、合計 13,820人実施し、

前年比 99人の増、0.72 %の増加となった。

(単位:人)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度	前年比率
住 民	箇所数	19	19	17	19	19	0	100.00%
	受診者数	13,873	13,547	7,632	10,720	10,774	54	100.50%
	要精検者数	170	202	83	119	123	-	-
	要精検率	1.23%	1.49%	1.09%	1.11%	1.14%	-	-
原爆被爆者	箇所数	4	3	2	2	0	△ 2	0.00%
	受診者数	12	3	5	3	0	△ 3	0.00%
	要精検者数	0	0	0	0	0	-	-
	要精検率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	-	-
事業所	箇所数	42	51	57	61	54	△ 7	88.52%
	受診者数	2,626	2,625	2,924	2,998	3,046	48	101.60%
	要精検者数	68	55	67	90	68	-	-
	要精検率	2.59%	2.10%	2.29%	3.00%	2.23%	-	-
合 計	箇所数	65	73	76	82	73	△ 9	89.02%
	受診者数	16,511	16,175	10,561	13,721	13,820	99	100.72%
	要精検者数	238	257	150	209	191	-	-
	要精検率	1.44%	1.59%	1.42%	1.52%	1.38%	-	-

10 乳がん検診の実施状況

乳がん検診は、一般住民、原爆被爆者、事業所で、合計 15,554人実施し、前年比 134人の減、0.85%の減少となった。

検査別として、視触診 3,840人、MMG検査 14,145人、乳腺超音波検査 4,267人を実施した。

(単位:人)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度	前年比率
住 民	箇所数	19	19	17	19	19	0	100.00%
	受診者数	15,688	16,017	8,551	12,519	12,416	△ 103	99.18%
	視触診	6,578	4,628	604	1,737	2,149	412	123.72%
	MMG検査	14,320	14,688	8,244	12,078	11,337	△ 741	93.86%
	乳腺超音波検査	7,400	7,623	2,581	2,516	3,759	1,243	149.40%
	要精検者数	737	720	395	646	542	-	-
	要精検率	4.70%	4.50%	4.62%	5.16%	4.37%	-	-
原 爆 被 爆 者	箇所数	6	3	2	2	1	△ 1	50.00%
	受診者数	13	4	5	2	1	△ 1	50.00%
	視触診	9	3	0	0	0	0	-
	MMG検査	13	4	5	2	1	△ 1	50.00%
	乳腺超音波検査	1	0	0	0	0	0	-
	要精検者数	1	0	0	0	0	-	-
	要精検率	7.69%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	-	-
事 業 所	箇所数	42	60	59	70	55	△ 15	78.57%
	受診者数	2,685	2,821	2,903	3,167	3,137	△ 30	99.05%
	視触診	1,688	1,704	1,658	1,614	1,691	77	104.77%
	MMG検査	2,347	2,448	2,570	2,915	2,807	△ 108	96.30%
	乳腺超音波検査	782	841	481	477	508	31	106.50%
	要精検者数	132	140	158	171	155	-	-
	要精検率	4.92%	4.96%	5.44%	5.40%	4.94%	-	-
合 計	箇所数	67	82	78	91	75	△ 16	82.42%
	受診者数	18,386	18,842	11,459	15,688	15,554	△ 134	99.15%
	視触診	8,275	6,335	2,262	3,351	3,840	489	114.59%
	MMG検査	16,680	17,140	10,819	14,995	14,145	△ 850	94.33%
	乳腺超音波検査	8,183	8,464	3,062	2,993	4,267	1,274	142.57%
	要精検者数	870	860	553	817	697	-	-
	要精検率	4.73%	4.56%	4.83%	5.21%	4.48%	-	-

11 肺がん検診の実施状況

肺がん検診は、一般住民、原爆被爆者、事業所で、合計 28,187 人実施し、前年比 727人の増、2.65%の増加となった。

喀痰細胞診は、一般住民 893人、原爆被爆者 6人、事業所 901人、合計 1,800人を実施した。

○X線検査

(単位:人)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度	前年比率
住 民	箇所数	20	20	19	20	20	0	100.00%
	受診者数	34,924	34,520	20,311	24,671	24,717	46	100.19%
	要精検者数	705	684	414	612	497	-	-
	要精検率	2.02%	1.98%	2.04%	2.48%	2.01%	-	-
原爆被爆者	箇所数	12	12	12	11	11	0	100.00%
	受診者数	580	528	360	357	320	△ 37	89.64%
	要精検者数	34	22	9	22	24	-	-
	要精検率	5.86%	4.17%	2.50%	6.16%	7.50%	-	-
事業所	箇所数	28	28	25	27	33	6	122.22%
	受診者数	2,068	2,349	2,297	2,432	3,150	718	129.52%
	要精検者数	3	5	8	13	16	-	-
	要精検率	0.15%	0.21%	0.35%	0.53%	0.51%	-	-
合 計	箇所数	60	60	56	58	64	6	110.34%
	受診者数	37,572	37,397	22,968	27,460	28,187	727	102.65%
	要精検者数	742	711	431	647	537	-	-
	要精検率	1.97%	1.90%	1.88%	2.36%	1.91%	-	-

○喀痰細胞診

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度	前年比率
住 民	箇所数	19	19	18	19	19	0	100.00%
	受診者数	1,438	1,360	811	902	893	△ 9	99.00%
	要精検者数	4	3	1	3	3	-	-
	要精検率	0.28%	0.22%	0.12%	0.33%	0.34%	-	-
原爆被爆者	箇所数	7	5	4	3	5	2	166.67%
	受診者数	27	15	14	10	6	△ 4	60.00%
	要精検者数	0	0	0	0	0	-	-
	要精検率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	-	-
事業所	箇所数	28	28	25	27	33	6	122.22%
	受診者数	834	809	894	911	901	△ 10	98.90%
	要精検者数	0	0	0	0	0	-	-
	要精検率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	-	-
合 計	箇所数	54	52	47	49	57	8	116.33%
	受診者数	2,299	2,184	1,719	1,823	1,800	△ 23	98.74%
	要精検者数	4	3	1	3	3	-	-
	要精検率	0.17%	0.14%	0.06%	0.16%	0.17%	-	-

12 大腸がん検診の実施状況

大腸がん検診は、一般住民、原爆被爆者、事業所で、合計 42,400人実施し、前年比 1,901人の増、4.69%の増加となった。なお、大腸検診(一日法)は、事業所 121人を実施した。

○大腸がん検診

(単位:人)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度	前年比率
住 民	箇所数	18	18	17	17	18	1	105.88%
	受診者数	25,398	25,344	13,925	20,433	22,228	1,795	108.78%
	要精検者数	1,808	1,755	992	1,399	1,419	-	-
	要精検率	7.12%	6.92%	7.12%	6.85%	6.38%	-	-
原爆被爆者	箇所数	12	13	11	11	11	0	100.00%
	受診者数	384	324	216	221	197	△ 24	89.14%
	要精検者数	35	31	19	17	17	-	-
	要精検率	9.11%	9.57%	8.80%	7.69%	8.63%	-	-
事業所	箇所数	283	299	308	321	368	47	114.64%
	受診者数	16,550	17,320	19,080	19,845	19,975	130	100.66%
	要精検者数	822	922	1,037	941	968	-	-
	要精検率	4.97%	5.32%	5.44%	4.74%	4.85%	-	-
合 計	箇所数	313	330	336	349	397	48	113.75%
	受診者数	42,332	42,988	33,221	40,499	42,400	1,901	104.69%
	要精検者数	2,665	2,708	2,048	2,357	2,404	-	-
	要精検率	6.30%	6.30%	6.16%	5.82%	5.67%	-	-

○大腸検診(一日法)

(単位:人)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度	前年比率
受診者数	301	144	175	137	121	△ 16	88.32%

13 骨粗鬆症予防検診の実施状況

骨粗鬆症予防検診は、一般住民、事業所で、合計 2,064人を実施した。前年比 429人の増、26.24%の増加となった。

(単位:人)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度	前年比率
住 民	箇所数	13	13	10	11	11	0	100.00%
	受診者数	2,253	2,164	1,296	1,537	1,973	436	128.37%
	骨粗鬆症の疑	716	694	405	465	666	-	-
	同率	31.78%	32.07%	31.25%	30.25%	33.76%	-	-
事業所	箇所数	2	2	2	2	2	0	100.00%
	受診者数	168	108	88	98	91	△ 7	92.86%
	骨粗鬆症の疑	25	24	20	27	27	-	-
	同率	14.88%	22.22%	22.73%	27.55%	29.67%	-	-
合 計	箇所数	15	15	12	13	13	0	100.00%
	受診者数	2,421	2,272	1,384	1,635	2,064	429	126.24%
	骨粗鬆症の疑	741	718	425	492	693	-	-
	同率	30.61%	31.60%	30.71%	30.09%	33.58%	-	-

14 腹部超音波検査の実施状況

腹部超音波検査(肝臓、膵臓、腎臓、脾臓、胆管、大動脈)は、一般住民、事業所で、
合計 5,606人実施した。前年比 1,006人の増、21.87%の増加となった。

(単位:人)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度	前年比率
住 民	箇所数	7	7	2	3	6	3	200.00%
	受診者数	4,447	4,435	556	2,879	3,738	859	129.84%
	要精検者数	212	239	28	131	205	-	-
	要精検率	4.77%	5.39%	5.04%	4.55%	5.48%	-	-
事 業 所	箇所数	31	28	33	30	33	3	110.00%
	受診者数	1,106	1,700	1,733	1,721	1,868	147	108.54%
	要精検者数	23	58	49	52	54	-	-
	要精検率	2.08%	3.41%	2.83%	3.02%	2.89%	-	-
合 計	箇所数	38	35	35	33	39	6	118.18%
	受診者数	5,553	6,135	2,289	4,600	5,606	1,006	121.87%
	要精検者数	235	297	77	183	259	-	-
	要精検率	4.23%	4.84%	3.36%	3.98%	4.62%	-	-

15 ヘリコバクター・ピロリ抗体検査の実施状況

ヘリコバクター・ピロリ抗体検査は、一般住民、事業所で、合計 667人実施した。
前年比 110人の増、19.75%の増加となった。

(単位:人)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度	前年比率
住 民	箇所数	6	6	6	4	4	0	100.00%
	受診者数	713	527	263	292	423	131	144.86%
	陽性者数	308	203	113	111	133	-	-
	陽性率	43.20%	38.52%	42.97%	38.01%	31.44%	-	-
事 業 所	箇所数	4	5	4	5	5	0	100.00%
	受診者数	763	428	302	265	244	△ 21	92.08%
	陽性者数	202	107	83	60	46	-	-
	陽性率	26.47%	25.00%	27.48%	22.64%	18.85%	-	-
合 計	箇所数	10	11	10	9	9	0	100.00%
	受診者数	1,476	955	565	557	667	110	119.75%
	陽性者数	510	310	196	171	179	-	-
	陽性率	34.55%	32.46%	34.69%	30.70%	26.84%	-	-

16 胃がんリスク検診(ABC検診)の実施状況

胃がんリスク検診(ABC検診)は、一般住民、事業所で、合計 1,231人実施した。

前年比 121人の増、10.90%の増加となった。

(単位:人)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度	前年比率	
住 民	箇所数	8	7	6	6	6	0	100.00%	
	受診者数	1,376	1,182	514	661	574	△ 87	86.84%	
	結 果	A群	757	681	291	429	385	-	-
		B群	363	263	112	127	100	-	-
		C群	240	225	103	89	80	-	-
D群		16	13	8	16	9	-	-	
事 業 所	箇所数	6	7	5	5	7	2	140.00%	
	受診者数	618	640	336	449	657	208	146.33%	
	結 果	A群	482	499	274	357	555	-	-
		B群	108	110	51	68	82	-	-
		C群	26	26	11	17	15	-	-
D群		2	5	0	7	5	-	-	
合 計	箇所数	14	14	11	11	13	2	118.18%	
	受診者数	1,994	1,822	850	1,110	1,231	121	110.90%	
	結 果	A群	1,239	1,180	565	786	940	-	-
		B群	471	373	163	195	182	-	-
		C群	266	251	114	106	95	-	-
D群		18	18	8	23	14	-	-	

17 風しん抗体検査の実施状況

風しん抗体検査は、特定健診や職場健診等で、合計 390人実施した。

(単位:人)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度	前年比率
風しん抗体検査	-	1,788	2,333	430	390	△ 40	90.70%

18 低線量CT肺がん検診の実施状況

低線量CT肺がん検診は、実施していない。

(単位:人)

年度	低線量CT肺がん検診			
	箇所数	受診者数	要精検者数	要精検率
平成30年度	0	0	0	
令和元年度	0	0	0	
令和2年度	0	0	0	
令和3年度	4	83	5	6.02%
令和4年度	0	0	0	-
対前年度	△ 4	△ 83	-	-
前年比率	-	-	-	-

19 先天性代謝異常検査の実施状況

母子保健法による先天性代謝異常等検査は、平成25年4月よりタンデムマス法による検査を導入し、新生児 9,002人の検査をした。前年比 487人の減、5.13%の減少となった。

また、令和4年7月よりオプションスクリーニング検査を開始し、5,830人の新生児を検査した。

(単位:人)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度	前年比率	
先天性代謝異常等検査	初回検査数	11,072	10,548	9,938	9,489	9,002	△ 487	94.87%	
	要 精 査 者 数	アミノ酸代謝異常症(※1)	2	0	4	4	3	-	-
		有機酸代謝異常症(※2)	0	4	3	4	3	-	-
		脂肪酸代謝異常症(※3)	1	2	8	11	9	-	-
		ガラクトース血症	2	2	0	5	2	-	-
		クレチン症	12	20	18	17	20	-	-
		先天性副腎過形成症	56	46	32	43	41	-	-
低出生体重児(※4)	251	236	233	235	239	-	-		
オプションスクリーニング検査	初回検査数	-	-	-	-	5,830	-	-	
	要 精 査 者	ライソゾーム病(※5)	-	-	-	-	11	-	-
		原発性免疫不全症(※6)	-	-	-	-	13	-	-
		脊髄性筋萎縮症	-	-	-	-	0	-	-

○上記検査項目の詳細

区 分	対象疾患数	対象疾患名
アミノ酸代謝異常症(※1)	5	①フェニルケトン尿症 ②ホモシスチン尿症 ③メープルシロップ尿症 ④シトルリン血症 I 型 ⑤アルギニノコハク酸尿症
有機酸代謝異常症(※2)	7	①プロピオン酸血症 ②メチルマロン酸尿症 ③イソ吉草酸血症 ④メチルクロトニルグリシン尿症 ⑤HMG血症 ⑥マルチプルカルボキシラーゼ欠損症 ⑦グルタル酸血症 I 型
脂肪酸代謝異常症(※3)	6	①CPT-1欠損症 ②MCAD欠損症 ③VLCAD欠損症 ④TFP/LCHAD欠損症 平成29年度より追加:⑤CPT-2欠損症 ⑥全身性カルニチン欠乏症
ライソゾーム病(※5)	5	①ファブリー病 ②ポンペ病 ③ゴーシェ病 ④ムコ多糖症 I 型 ⑤ムコ多糖症 II 型
原発性免疫不全症(※6)	2	①重症複合免疫不全症 ②B細胞欠損症

(※4)先天性代謝異常等検査の「低出生体重児」実施件数は、2次検査の実施件数を計上しました。

20 検体受託検査の実施状況

他医療機関より委託を受け、婦人科材料・呼吸器材料などの細胞診検査を 807人実施した。
前年比 28人の減、3.35%の減少となった。

(単位:人)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度	前年比率
婦人科	553	631	594	535	515	△ 20	96.26%
呼吸器	374	302	190	216	200	△ 16	92.59%
その他	145	108	96	84	92	8	109.52%
合計	1,072	1,041	880	835	807	△ 28	96.65%

21 新型コロナウイルス検査の実施状況

LAMP検査を 9,973人、PCR検査を 2,262人、合計 12,235人実施した。

(単位:人)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度	前年比率
LAMP検査	-	-	5,464	5,584	9,973	4,389	178.60%
PCR検査	-	-	-	1,693	2,262	569	133.61%
抗原定量検査	-	-	-	387	0	△ 387	-
合計	-	-	5,464	7,664	12,235	4,571	159.64%

22 新型コロナウイルスワクチン接種の実施状況

新型コロナウイルスワクチン接種は、諫早市住民に対して、延 53,996人実施した。

(単位:人)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度	前年比率
ワクチン接種	-	-	-	93,347	53,996	△ 39,351	57.84%

23 複十字シール運動

結核予防思想の普及のための複十字シール運動は、例年どおり組織募金と郵送募金の併用で実施し、組織募金は、県関係、市町、婦人会等を対象とし、郵送募金は医師会会員、民生委員をはじめ諸団体、事業所などの個人の方々より協力をいただいた。

また、前年度同様、全国一斉複十字シール運動キャンペーンを婦人会と共催し、街頭募金を実施して結核の周知を図った。

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度
郵送募金	件 数	87 件	71 件	61 件
	募金額	192,000 円	202,000 円	186,000 円
組織募金	件 数	162 件	179 件	160 件
	募金額	1,401,937 円	1,468,771 円	1,419,740 円
合計	件 数	249 件	250 件	221 件
	募金額	1,593,937 円	1,670,771 円	1,605,740 円

24 がん征圧推進運動

がん予防対策推進について理解と援助協力をいただく維持会員、特別会員を募集し、既会員を基盤として県関係、市町、医師会、事業所等へ呼びかけて協力をいただいた。

この募金は、がん征圧推進のため広報活動等に要する費用として活用している。

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度
維持会員	件 数	107 件	96 件	77 件
	募金額	336,169 円	318,374 円	274,506 円
特別会員	件 数	15 件	12 件	13 件
	募金額	160,500 円	120,000 円	130,000 円
合計	件 数	122 件	108 件	90 件
	募金額	496,669 円	438,374 円	404,506 円

25 週間及び月間運動等の実施

- 結核予防週間 9月24日～9月30日(1週間)
県、保健所、市町、婦人会等と共催して県内各地で街頭キャンペーンを開催し、複十字シール・シールぼうやボールペン等を県民に手渡して結核予防思想の普及を図った。
- がん征圧月間 9月1日～9月30日(1ヵ月間)
県、医療機関、市町等へ征圧月間ポスター及びがん予防ポスターを配布した。
- リレー・フォー・ライフ・ジャパン佐世保2022 6月11～12日
長崎県では初開催のリレー・フォー・ライフ・ジャパンに参加し、乳がん検診の無料実施やブースを設けてチラシを配布し、がん検診の啓発活動を行った。

26 媒体による広報活動

がん予防対策推進に理解と援助協力をいただいた特別会員、維持会員等へ対がん協会報(毎月号、増刊号)を配布している。また、県、市町、事業所等が行う研修会及び検診実施時、キャンペーン等に、パンフレットやリーフレットを配布した。

配 布 資 料	配 付 先	配 付 数
対がん協会報	特別会員・維持会員・県・市町等	年間 611 部
がん検診 がんに負けない社会をつくる	県・市町・事業所	年間 559 部
乳がんのセルフチェック	県・市町・事業所	年間 559 部
計		年間 1,729 部

27 教育資材の貸出

結核・乳がんに関する健康教育のため、啓発パネルの無料貸出を行い、結核・がん予防の普及に努めた。

28 図書の斡旋

結核予防会等発行の図書(結核?! でもきっと大丈夫、保健師・看護師の結核展望他)を県、市町、医師会等へ紹介し、213部を斡旋した。

29 長崎県救急医療情報センター運営事業

(1)長崎県救急医療情報システム運営事業

長崎県より委託を受け、救急患者の医療の確保に不可欠な救急医療情報システムの管理運営を行った。

① 医療機関が情報の入力を行った回数

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
合計	9,245 回	9,202 回	8,632 回
月平均回数	770 回	766 回	719 回

② 消防機関及び医療機関等が情報の検索を行った回数

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
消防機関	9,447 回	12,116 回	8,436 回
医療機関	77,500 回	75,502 回	74,390 回
その他(保健所等)	7,081 回	7,861 回	8,103 回
合計	94,028 回	95,479 回	90,929 回

③ ホームページにより在宅当番医情報検索を行った件数

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
パソコンによる検索	81,312 回	94,432 回	163,030 回
携帯電話による検索	24 回	40 回	29 回
合計	81,336 回	94,472 回	163,059 回

(2)救急搬送事後検証票解析事業

救急搬送患者の状況を解析するため、救急搬送事後検証票のデータ入力・集計を行った。

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
データ入力件数	59,159 回	58,941 回	51,465 回

(3) その他の救急医療関係

① ACLSシステムの医師会への貸与

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
講習会	0 回	0 回	0 回
参加人数	0 名	0 名	0 名

② AED(自動体外式除細動器)の医師会への貸与

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
講習会	1 回	1 回	2 回
参加人数	310 名	270 名	339 名

③ 未熟児搬送用保育器の貸与

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
国立病院機構長崎医療センター	12 回	10 回	10 回
長崎みなとメディカルセンター	4 回	0 回	0 回

④ 救急医療機関案内電話(ハイキュウキュウ)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
長崎市消防局	7,079 回	7,448 回	9,524 回
平戸市消防本部	58 回	71 回	90 回
県央消防本部	302 回	366 回	526 回
佐世保市消防局	7,442 回	10,115 回	10,732 回
島原消防本部	189 回	173 回	264 回
松浦市消防本部	55 回	60 回	134 回
合計	15,125 回	18,233 回	21,270 回

30 長崎県腎臓バンク運営事業

(1)一般への普及啓発(腎不全対策確立事業)

慢性腎不全対策に関する基礎資料の整備及び広報・キャンペーンを行った。

① 動態統計等、基礎資料の整備

長崎県腎不全対策協会に委託して、透析患者と透析施設の動態統計を整備した。

(令和4年12月末現在)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1.人工透析患者数	4,188 人	4,193 人	4,084 人
うち腹膜透析者数	134 人	141 人	127 人
※長崎県内の人工透析施設毎の調査のため、 県外施設の長崎県在住者は含まない。			
2.人工透析施設数	65 施設	66 施設	66 施設
うち夜間透析可能施設	25 施設	22 施設	24 施設
3.人工透析台数	1,799 台	1,792 台	1,826 台
うち多人数用	1,655 台	1,654 台	1,687 台
うち個人用	144 台	138 台	139 台
4.腎臓移植希望登録者数	168 人	175 人	181 人

② 広報活動の推進

1. 臓器移植推進月間(10月)の広報

- ・臓器移植推進月間(10月)において、長崎県庁にグリーンリボン懸垂幕を掲出し、夜間にはグリーン色にライトアップを実施した。また、長崎市の風頭公園龍馬像、稲佐山の電波塔、長崎みなとメディカルセンターの看板及び大村市の大村玖島城址、大村公園、大村ボート、みらいON図書館、シーハット大村(11月)を同様にライトアップを実施した。
- ・期間中にみらいON図書館にブースを設置し、県民へ意思表示について周知を図った。
- ・長崎みなとメディカルセンターの院内患者受付に移植医療に関するバナーを掲示した。
- ・ポスター400枚を作成し、公共交通機関(JR九州、長崎電気軌道、長崎バス、長崎県営バス、西肥バス)に掲示した。
- ・長崎県内21市町が発行している広報誌10月号に臓器移植普及月間についての原稿提供と掲載依頼を行った。
- ・長崎市消防局の電子掲示板に臓器提供に関する意思表示の推進の告知を行った。
- ・オリエンタルエアブリッジ(ORC)の航空機にグリーンリボンを掲出し、期間中、操縦士・客室乗務員・整備員がグリーンリボンバッジを着用した。

2. 年間を通じ、県南地区を走行している長崎バスにおいて、ラッピングバス「グリーンリボン号」を運行した。

3. ながさきプレス2月号において、移植医療に関する広告を掲載した。
 4. 市町や保健所、警察署、病院、各大学など従来からの設置箇所へ定期配布をした。
 - ・臓器提供意思表示カード付リーフレット 36, 870枚
 5. 1月の成人式に臓器提供意思表示カード等を配布した。(県内21市町中20市町 7, 150枚)
 6. 長崎県警察本部検視担当を対象とした勉強会を実施した。
 7. 長崎市で開催された「2022長崎ベイサイドマラソン&ウォーク」において、参加賞として4,000名全員へ意思表示カードセットを配布し、参加者へ配布された大会プログラムに広告を掲載した。また、大会ホームページにおいて、移植医療推進協議会のfacebookページにリンクしていただいた。
 8. 長崎県移植医療推進協議会のfacebookページを作成し、長崎県内の移植医療に関する活動報告および意思表示事例の紹介について随時更新を行った。
- ※8月「長崎地域医療セミナー」、9月「健康バンザイ！がんばらばキャンペーン」、10月「臓器移植普及推進街頭キャンペーン」、病院祭り、長崎市地域包括ケア事業企画委員会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

③ 腎不全患者社会復帰事業

- ・長崎県腎臓病患者連絡協議会の活動への助成
 - 腎臓移植普及推進キャンペーンに向けた取り組みに対して10万円を助成した。

(2) 病院等への普及啓発(腎不全治療対策推進事業)

腎臓等移植のための組織的協力体制を整備する事業を行った。

- ① 平成15年度より腎臓移植推進協力病院、県、腎臓移植病院、公益社団法人日本臓器移植ネットワークなどの関係機関と共に「長崎県移植情報担当者協議会」を組織し運営を行った。
 1. 長崎県腎臓移植推進協力病院 移植情報担当者協議会を開催した。(2回)
 2. 腎臓移植推進協力病院において、関係者(医師、看護師、臨床検査技師等)に対して院内説明会・症例報告会・法的脳死判定シミュレーション等を7病院30回行った。
 - ・長崎大学病院(17回) ・長崎医療センター(1回) ・佐世保市総合医療センター(8回)
 - ・長崎労災病院(1回) ・済生会長崎病院(1回) ・宮崎病院(1回)
 - ・長崎みなとメディカルセンター(1回)
- ② 平成26年度より長崎県及び県内の臓器提供病院、移植病院、組織バンク、県医師会、マスメディア、弁護士会などの関係機関とともに、「長崎県移植医療推進協議会」を組織し運営を行った。
 1. 長崎県移植医療推進協議会を開催し、移植医療に関する問題点について意見交換会を行った。
 2. 長崎県移植医療推進協議会のFacebookにおいて随時活動報告を掲載した。
 3. 系統的な臓器提供の意思表示確認および選択肢提示方法を確立するため、長崎県移植医療推進協議会に「臓器提供に関する選択肢提示方法の検討と確立ワーキンググループ」を設置し、長崎県下三次救急医療施設におけるドナー適応症例の実態調査(死亡調査)を実施した。ドナー適応症例の実態調査の状況把握・検討を実施するため「臓器提供に関する選択肢提示方法の検討と確立ワーキンググループ」を開催した。

③臓器提供・移植

- ・臓器提供情報15件が寄せられ、うち8件で家族説明(インフォームド・コンセント)をし、そのうち脳死下臓器提供が5件、県内の移植施設において、2件の腎臓移植術が実施された。
- ・他県より提供された肺、肝臓、膵臓、腎臓が県内の移植施設において6件移植(肺:2件、肝臓:3件、膵臓・腎臓同時:1件)が実施された。

④その他の活動

1. 腎臓移植推進協力病院の指定と移植情報担当者の設置・委嘱状の交付
 - ・19病院に協力依頼を行った。
 - ・それぞれの病院に移植情報担当者(医師1名以上、看護師1名以上)総数54名を設置し、県知事より委嘱状を交付した。
2. 長崎県移植医療推進協議会の規程を制定し、移植医療推進協議会委員を設置し、県知事より委嘱状を交付した。
3. 急性期終末期患者(脳死とされうる状態の患者等)の家族を対象とした臓器提供意思確認リーフレットを新たに作成し、長崎県と共に腎臓移植推進協力病院19病院に対して、リーフレットの活用について協力依頼を行った。
4. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等克服研究事業(難治性疾患等政策研究事業(免疫アレルギー疾患等政策研究事業(移植医療基盤整備研究分野)))」(研究課題名:5類型施設における効率的な臓器・組織の提供体制構築に資する研究―ドナー評価・管理と術中管理体制の新たな体制構築に向けて―、主任研究者 長崎大学病院 高度救命救急センター 教授 田崎修)の協力研究者として、ドナー家族サポート体制に関する研究、及びコロナ禍における臓器提供調査に参画し活動した。

⑤臓器移植コーディネーターの活動

1. 学会・会議・研修会・研究会等の出席(発表及び研修)
 - ・日本臓器移植ネットワーク都道府県コーディネーター研修会他
2. 病院訪問活動
 - ・腎臓移植推進協力病院(19病院)の訪問を定期的に行った。

(3)臓器移植登録助成事業

臓器移植登録助成の実績

- ・臓器移植希望者が公益社団法人日本臓器移植ネットワークに支払う新規登録料3万円のうち、当バンクへ申請した延22人に対して各2万円、合計44万円を助成した。
(腎臓:17人、肺:3人、肝臓:2人)

(4)受託事業

長崎県からの受託事業として以下を実施した

- ・臓器移植普及推進のための啓発物品の整備
3色ボールペン(500本)、卓上カレンダー(300冊)を作成し配付した。

(5) 腎臓移植・人工透析関係資料

(令和5年3月31日現在)

区分	旧長崎県腎臓バンク登録数 (腎臓提供登録数)		人工透析患者数		腎臓移植希望者数		献腎提供 情報数※	県内で提供 された腎臓数 (提供人数)	県内での 献腎移植数
	[現在登録 終了]	増加数	全国 (年末)	長崎県 (年度末)	全国	長崎県			
平成元年度	(累計) 2,891	301	83,221	1,413	14,107	279		8(4)	8
平成2年度	3,814	923	103,296	1,556	16,925	239		11(6)	12
平成3年度	4,603	789	116,303	1,659	17,727	269		4(2)	6
平成4年度	5,530	927	123,926	1,776	19,143	284		0	5
平成5年度	6,226	696	134,298	1,871	20,562	274		4(2)	7
平成6年度	6,766	540	143,709	2,006	22,129	273		6(3)	14
平成7年度	7,216	450	154,413	2,081	15,057	263	1	0	1
平成8年度	7,703	487	167,192	2,132	14,987	182	6	2(1)	0
平成9年度	8,666	963	175,988	2,290	15,273	190	8	4(2)	0
平成10年度	8,915	249	185,322	2,451	13,291	193	3	2(1)	1
平成11年度	9,029	114	197,213	2,594	13,448	164	5	2(1)	4
平成12年度	9,068	39	206,134	2,833	13,206	170	0	0	0
平成13年度	9,106	38	219,183	3,003	13,013	165	5	0	0
平成14年度	9,106	新規登録 終了	229,538	3,114	12,974	163	4	2(1)	2
平成15年度			237,710	3,203	12,468	167	10	9(5)	6
平成16年度			248,166	3,352	12,328	163	10	2(1)	2
平成17年度			257,765	3,487	12,095	151	10	8(4)	4
平成18年度			264,473	3,517	11,941	141	10	8(4)	5
平成19年度			275,242	3,677	12,025	151	6	4(2)	4
平成20年度			283,421	3,841	11,940	145	4	4(2)	4
平成21年度			290,661	3,894	12,010	139	7	6(3)	3
平成22年度			298,252	3,859	12,201	148	9	4(2)	2
平成23年度			304,856	3,900	12,542	144	11	2(1)	3
平成24年度			310,007	3,945	12,767	148	15	6(3)	2
平成25年度			314,180	4,052	12,875	144	21	6(3)	2
平成26年度			320,448	4,039	12,725	142	22	6(3)	2
平成27年度			324,986	4,102	12,725	142	33	6(3)	4
平成28年度			329,609	4,112	12,828	143	22	4(3)	4
平成29年度			334,505	4,114	12,449	146	15	2(4)	4
平成30年度			339,841	4,134	12,150	151	22	1(2)	1
令和元年度			344,640	4,189	12,505	170	20	0	3
令和2年度			347,671	4,188	13,163	168	17	6(3)	3
令和3年度			349,700	4,193	13,738	175	19	6(2)	3
令和4年度				注1) 4,084	14,080	181	15	10(5)	2

※献腎提供情報数: 県内の医療機関から腎臓提供の可能性があると連絡があった数

注1) 令和4年度長崎県人工透析患者数は、委託先の長崎県腎不全対策協会の調査方法が変更(毎月調査から年末の年1回調査へ変更)